

～無痛分娩とは～

無痛分娩とは麻酔を使って陣痛の痛みを和らげる方法です。

【無痛分娩メリット】

- ・痛みが少ない分、心臓や肺にかかる出産時の負担が軽くなります。
- ・血圧の急激な上昇を少なくすることができます。
- ・痛みが少ない分、産後の体力温存ができたと感じる方も多いです。

【無痛分娩のリスク】

- ・産まれるまでの時間が長くなり、赤ちゃんが産まれる時に吸引などの機械を使う頻度が高くなります。また、陣痛を促す薬を使う頻度が高くなります。
- ・麻酔による影響で、足に力が入りづらくなる・血圧が下がる・排尿感が弱くなるなどの症状が出る場合があります。
- ・まれではありますが、麻酔による重い症状で、呼吸ができなくなったり意識を失ったり、麻酔薬の中毒症状が出る事があります

☆日本では全分娩の5%が無痛分娩で近年増加傾向です。

☆無痛分娩を考える方は担当医と相談し、各施設の体制をよく理解したうえで分娩方法を決めていただければと思います。

参照:厚生労働省 無痛分娩について

無痛分娩に関する情報について知りたいことなどあれば、地域保健課に助産師がおりますのでご相談ください。

